

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 45

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	犬石 圭一
事業名	各種イベント等開催事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	各種イベント等開催事業			政策体系	243
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

1. 事業の概要

地域資源を生かした町おこし・町づくりイベント開催を通じて、市民の交流並びに地域の活性化を図るため、南丹市の地域振興イベントを開催する市民が組織する実行委員会に対し補助金を交付し、その取り組みを支援する。（美山サイクルロードレース、ひよし水の杜フェスタ、美山ふるさと祭）

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

合併後の新たな市民交流の促進と、南丹市の魅力をPRし、郷土愛を育み故郷に誇りを持って住んで良かったと感じる南丹市のまちづくりに繋げる。

②事業を実施する必要性

多くの市民の参画で実行委員会組織によるイベントを企画開催し、地域の活性化や市民交流の促進、市のPRに繋がる取り組みを行政と連携して積極的に取り組んでおり、市として補助金を交付し支援する必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	14,722	10,083	7,409	5,287	5,000	5,000	5,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	6,288	4,758	3,576	2,475	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,434	5,325	3,833	2,612	5,000	5,000
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.80	0.65			
人件費	千円	—	—	4,788	4,615			
事業費総額	千円	—	—	12,197	9,902			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

実行委員会への補助金	5,287,000円
・美山サイクルロード	553,000円
・ひよし水の杜フェスタ	3,352,000円
・美山ふるさとまつり	1,382,000円

5. 事業結果の概要

各イベントにおいて、それぞれが地域の特色を生かした取組を実施し所期の目的を概ね達成した。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 美山サイクルロード		
京都国体を機に自転車の町として取組み24回を迎えた自転車ロードレース大会で、美山支所前をスタート・ゴールとする1周10.1キロの九鬼ヶ坂周回コースにおいて実施。年々エントリー数も増加。地理的条件から前泊を伴い、約330名の宿泊客があるため地域経済にもプラス効果あり。競技関係は主として自転車連盟が受け持ち、市は会場貸出及び警察署と共に大会運営の側面支援を請け負う。(スポーツイベント) 実行委員会による開催。	5月31日(日)	エントリー数 約1,000人 ※小学生～一般参加(府高等学校選手権、府選手権、国体府予選、近畿高校選手権、近畿地域大会等を兼ねる)自主警備 100人沿道観衆 約3,500人市補助金 553,000円
(2) ひよし水の杜フェスタ		
地域振興や観光振興、スプリングスひよしの利用促進を図るため、吉本お笑いショー等のステージイベントや各種模擬店、市PRコーナー、リサイクルマーケット等を行った。また共催イベントとして南丹丹波林業振興展(木材まつり)等で市内外からの来場者でにぎわった。(地域づくり・観光振興イベント) 実行委員会による開催	10月25日(日)	来場者数等 約6,000人 市補助金 3,152,000円 地域に開かれたダム助成金 200,000円
(3) 美山ふるさとまつり		
温もりのあるふるさとづくりと、住民が都市住民と交流を図ることにより地域の活性化をめざすことを目的に、「限界集落なんて言わせない『美山のまちづくり』夢と目標」をサブスローガンにステージイベントや各種模擬店を実施。またワンデーマーチを同時開催し都市住民への情報発信と交流実現を図った。(地域づくり・観光振興イベント) 実行委員会による開催	11月3日(祝)	来場者数等 約2,000人 市補助金 1,382,000円

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

「そのべ龍神祭」は平成20年度をもって廃止されたが、その他の旧町継続イベントについては実行委員会に補助金を交付した。今後においても、市の活性化のためのイベント開催は重要であり、新たな統一イベントの計画、実施に向け、継続開催している旧町イベントの見直しも含めた検討が必要。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
新たな統一イベントの計画、実施に向け、継続開催している旧町イベントについての見直しを検討した。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
南丹市民の一体感を醸成する統一イベントの計画、実施が必要。